

OpenTalkS!

2019.Aug

永久に続くのではないかと思わせた今年の梅雨も、8月を目前にさすがに梅雨明けとなりうだるような暑さの夏がさっそくやって来ました。
真夏日と熱帯夜の連続で心も体も疲れてしまうこんな季節><
今月号は難しいお話は一切なし！（笑）
OTS 及び葛西エリアで楽しめる【癒し】を特集いたします！

そもそも【総合レクリエーション公園】ってなあに？



西葛西6丁目から南葛西7丁目にかけて約3kmにもわたる巨大な複合公園エリアです。
アド街ック天国で葛西が取り上げられた際には総合レクリエーション公園は第10位にランクインするほど！！
野球場だけでも3か所もあるだけでなく、ポニーと触れ合える『なぎさポニーランド』、ボートやデイキャンプが楽しめる『新左近川親水公園』などがあり、地元住民でもいまいち全貌を掴みきれていないほどのスケールのでかさ！
ファミリー層にやさしい江戸川区らしく、子供だけでなく大人も都会の喧騒を離れて一日たっぷり楽しめる、癒しの自然派空間がそこにはあるのです！

総合レクリエーション公園 フラワーガーデン

江戸川区を代表する公園のひとつ。葛西地区住民の憩いの場とも言える広場です。
南欧風デザインの大きなバラ園を中央に、夏には子供たちが水遊びできる大きな噴水設備もあるんです。
バラは約100種2500株が植えられており、年に二回のバラの季節（5月中旬～6月上旬と10月中旬～11月中旬）には大勢の人が訪れます。
バラだけでなく、桜、紫陽花、藤、向日葵…等々、四季折々の花が美しく咲く素敵な公園です。

お魚さんに会いに臨海センターへ行こう！



アマゾン出身のカラシン種です。熱帯魚を知らない人でもこの魚は見たことがありますよね！ってほどの超メジャー

東南アジア原産のコイ科のお魚です。とても温和で他の魚との混泳も問題なし弱酸性の水で飼育してあげてね！

OTSにほど近い『葛西臨海公園』にはマグロで有名な葛西臨海水族館がありますが、OTS臨海センターにもごくごく小さいながら水族館があるのをご存じでしょうか。
受付を入れて真正面、水草の鮮やかな緑と色とりどりの魚達が群泳する美しい水槽が目にとまります。
高校時代に生物部として熱帯魚の飼育・観察に熱い青春を費やした私にとっては、臨海センターに行くたびにハタと立ち止まってしまう魅惑の癒しスポットです。
臨海センターにお立ち寄りの際は涼やかなお魚達を眺めてみてはいかがでしょうか。

本部広報 金光



熱帯魚マメ知識 その1

実はそんなに熱くない！？

日本に入ってくる熱帯魚の7割は南米アマゾン川流域から、次いでアフリカの湖やコンゴ川流域、東南アジアからになります。暑さに強いと思われがちですが、飼育適温は水温25℃前後と、プールでいうとちょっと冷たいくらいの温度。><熱帯魚にとって日本の夏は暑すぎるのです。

熱帯魚マメ知識 その2

濾過が何よりも重要

陸上生物のペットとは違い、熱帯魚は水槽の中の水の状態もしっかり管理しなければなりません。濾過器の役割はゴミやフンを物理的に取り除くだけではなく、生物から発生するアンモニア（毒性強）を亜硝酸塩（毒性中）→硝酸塩（毒性弱）と分解してくれるバクテリアを濾過器内に繁殖させ、魚の住める水質を保つ役割があるのです。

熱帯魚マメ知識 その3

ニモは？ニモは？

同じ熱帯魚でも川や湖の淡水で暮らすのが淡水魚、海で暮らすのが海水魚と分かれます。ニモ（クマノミ種）は海で暮らすので海水魚となります。一般的に海水魚は淡水魚に比べてよりピットな色合いをしています。海水魚は海水に近い塩分濃度の水を用意する必要があり、飼育は淡水魚の方が容易です。

園内には様々な花が植えられており、色とりどりの花が咲いています。園芸に造詣の深くない私でも時間を忘れてゆっくりしたくなる都会のオアシス！とても環七沿いにある公園とは思えません。

OTSからほど近いとはいえ、なかなか陽のある内に散歩する機会はないものです。取材にかこつけてカメラを持ってぶらりお散歩に行ってきました。公園入口には向日葵が梅雨明けを祝うかのように見事に咲き誇っていました。



公園内には機関車の形をしたシャトルバスが運航しており、隣接するほかの公園施設に行くことができます。たまには仕事を忘れ、童心に帰って乗ってみてはいかがでしょうか。

◇アクセス◇

東西線葛西駅から

都バス【臨海28甲】【臨海28乙】【葛西24】に乗車し『総合レクリエーション公園』バス停で下車

JR 葛西臨海公園駅から

都バス【臨海28甲】、京成バス【環07急行】【環08急行】に乗車し『総合レクリエーション公園』で下車